

## サービスラーニングクラスで学んだこと

活動先：南知多町立師崎小学校

クラス：岡多枝子先生

私はこの1年、岡クラスとして師崎小学校を中心に多くのことを学ぶことができた。特に大きかったのは私達学生も地域に参加し活動できること、また思っていたより地域から必要な活動力として期待されていることに驚いた。学生が活動に参加することはなかなか受け入れてもらえないことの方が多いのではないかと考えていたが、思った以上に福祉現場は人手不足で学生でも手を借りたい状況であることが見て取れた。また、将来の為に現場を見たいと希望している学生を快く応援してくれているということが大いに伝わってきた。4月からの取り組みで自分が成長したと思えることは、将来を見据えた活動を行うようになったこと、また一つの物事について経験を生かして深く考えるようになったことである。今まで現在を視ることで精一杯であったが、将来を考えてみた時に自分がしたいこと、自分の経験になることは積極的に行動しようと思えるようになった。また、状況を見て自分から動くことが必要だと感じ自分からできることをしてみようと思うようになった。また、活動することで教育の難しさにも直面した。まだ教壇に立ったわけではないが、子どもと教員という立場で接した時、どう対応していいのかわからないと思うことがいくつもあった。しかし、それで根をあげては今後教職を目指す者としてはいけないのでこの経験を大いに生かして今後授業や実習に挑んでいきたいと考えている。もっともっと生徒と関わる機会を利用し大学生のうちにできる限り接していけたらと考えている。またもう少し福祉から見た教育を授業や独自に学び、障害児と健常児どちらも平等に見られる目を養っていきたいと考えている。また、入学時には考えていなかったような体験や考えを2年生になって岡ゼミに入ってできるようになり、前期だけでも多くのことを学ぶことができた。まだまだ1年間のサービスラーニング活動ではやり切れなかったことが大いにある。それらを残っている残りの2年間で自分の将来に生かせるものとし、教員を目指す者として恥ずかしくない生活を送っていきたいと考えている。また、様々なことに挑戦し、自分の経験値を増やしていきたいとも考えている。大学生である今しかできないこともあるのでこのチャンスを逃すことのないように自分の考えをしっかりと持ち生活していきたい。また、まだまだ私は障害児との触れ合いが少ない気がするのもっと多くの子どもの関わりその生活をお手伝いしていきたいと思う。性格的に正直消極的な面があるのでそれを克服し自分から積極的に活動できるようになっていければ大学で学んだかいがあったと言えるだろう。また、サービスラーニングを通して福祉は世間からもっと注目されるべき分野だと感じた。福祉に目を向けることで今の日本を良くしていく手掛かりが見つかると思う。しかし、福祉は今や政策の後回しにされていると感じる。そのため政府にばかり頼っては今の日本は良くなっていかないと考える。日本をいい国に建て直すには地域住民の協力が何よりも重要でそれを支えるのに現場の福祉職員が手助けをする必要があるだろうと思った。地域住民は福祉について知らないことが多い。また、福祉の状況がどうな

っているのかも知らないことが多いだろう。こうした知識のなさから孤独死や餓死など現代で問題となっている事件が起こるのである。今は隣の住人の顔も知らない時代だと言われているがこうした時代だからこそ皆で協力する必要があると思う。こうした考えもサービスマーケティングを通してNPOなどが強く訴えていることを感じた。

## 活動報告会プレゼンテーション資料の一部

### 特別支援学級の児童と 通常学級の児童の 学校生活から学ぶ

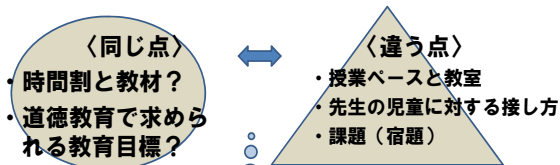
～南知多町立師崎小学校・ひまわり学級～

### 目的

特別支援学級と通常学級との同じ点・違う点・工夫点を調査する

### 仮説

特別支援学級と通常学級の児童間の・・・



特別支援学級の児童がいることで良い影響を受ける子が多い!!

### 考察・結論1

(考察)  
今回の授業見学ではなかったので、  
仮説検証に至らなかった



しかし・・・  
そこから・・・

(結果)  
振り返りを通して、私たちが立てた仮説というもの  
が授業内に関するものに留まっていたことに気づく！  
それを踏まえて、授業内だけに捉われない広い視野  
での  
仮説を考えて次回のフィールドワークに臨む、という  
ことが課題に！

### 考察・結論2

1日の活動を通して・・・

地域×教育

教師としての  
プロフェッショナル

地域の活性化

